

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2018年9月25日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 1 -

上顎右側中切歯欠損に対してインプラント補綴を行った1症例

あらた歯科 田中 秀幸 〒862-0933 熊本市東区小峯2-2-134

■略歴

2008年 福岡歯科大学卒業

九州歯科大学病院 卒後研修

2014年 あらた歯科 開業

■所属

日本臨床歯科医学会 熊本支部

日本口腔インプラント学会

■抄録

前歯部インプラント補綴の場合、白歯部より機能は基より審美性が重要視される。審美性は歯の形態とともに歯肉の形態が重要である。

今回、患者は51歳男性で前歯部の違和感を訴えて2016年6月に来院した。上顎右側中切歯に歯根破折を認め、保存不可能と判断した。患者はインプラントを希望し、咬合診断後、早期接触に対して咬合調整を行い、上顎右側中切歯の抜歯を行った。抜歯窩治癒後にアストラテックインプラント径3.5mm長さ11mmの遅延埋入を行うと共に唇側骨の吸収を認めた為、GBRを行った。プロビジョナルレストレーションにて咬合状態、清掃状態を確認後、スクリュー固定にて上部構造を装着した。

現在、患者は審美的機能的に満足しているが、今回再検証してみると歯肉の形態、歯の形態そして治療期間に反省点を見つけた。次回同じ様な症例の患者が来た場合、もっと審美的に短期間で出来るのではないかと思ひ発表を通じてこの症例の問題点を提示したいと思ひますので、諸先生方のご意見をよろしく願ひいたします。

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2018年9月25日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 1 -

上顎右側中切歯欠損に対してインプラント補綴を行った1症例

あらた歯科 田中 秀幸 〒862-0933 熊本市東区小峯2-2-134

■略歴

2008年 福岡歯科大学卒業
九州歯科大学病院 卒後研修

2014年 あらた歯科 開業

■所属

日本臨床歯科医学会 熊本支部

日本口腔インプラント学会

■抄録

前歯部インプラント補綴の場合、白歯部より機能は基より審美性が重要視される。審美性は歯の形態とともに歯肉の形態が重要である。

今回、患者は51歳男性で前歯部の違和感を訴えて2016年6月に来院した。上顎右側中切歯に歯根破折を認め、保存不可能と判断した。患者はインプラントを希望し、咬合診断後、早期接触に対して咬合調整を行い、上顎右側中切歯の抜歯を行った。抜歯窩治癒後にアストラテックインプラント径3.5mm長さ11mmの遅延埋入を行うと共に唇側骨の吸収を認めた為、GBRを行った。プロビジョナルレストレーションにて咬合状態、清掃状態を確認後、スクリュー固定にて上部構造を装着した。

現在、患者は審美的機能的に満足しているが、今回再検証してみると歯肉の形態、歯の形態そして治療期間に反省点を見つけた。次回同じ様な症例の患者が来た場合、もっと審美的に短期間で出来るのではないかと思ひ発表を通じてこの症例の問題点を提示したいと思ひますので、諸先生方のご意見をよろしく願ひいたします。